



サクラ・はうす



2020・6・25

NO177

サクラはうすの庭に咲く立葵の花。この花が下から咲いてゆきてっぺんまで来ると梅雨が明けるといわれていますが、今年は梅雨に入る前にてっぺんの花が開きました。暑い日があったり、土砂降りの雨の日があったり、そして何よりも、コロナという恐ろしい感染症がいまだに完全終息に至らないという6月になりました。3月から5月末までの休校、そして6月の分散登校、本当に異例の学年始めでした。サクラはうすも、毎日朝からの開所、分散登校のお迎えなど、午後は、30人前後の集団になり、気を遣う日々が続いています。それでも、子どもたちの沢山の笑顔に、何かほっとするものを感じています。



みんなで遠足気分

朝からのお預かりの日の友達や、給食のない一年生は、きくまの森のケヤキの木の下でお弁当。いつもとても楽しそうに食べていました。いつのまにか、友達の名前も、上級生の名前も覚えて、みんななかよしに。



本当は、この田んぼの一角を、子どもたちと田植えをする予定でした。今年は残念ながら、でも秋には稲刈りをみんなでします。



運営委員会 6月7日サクラはうす運営委員会。

サクラはうすの概要、日頃子ども達の様子、コロナ対応、質疑応答など1時間にわたって開かれました。この会には右記の方10名の方に委員としてこの1年間学童を見守り、ご協力、ご指導を戴く事となりました。

縁の下のお力があってこそ良き保育が出来ることを心よりお礼申し上げます。

お願い

- ★午後は涼しいきくまの森で、思い切り遊びます。虫除けを持たせてください。ガスタイプのものでないもので、お子様にあったもの。名前を大きく書いて持たせてください。
- ★長いお休みや、分散登校で、生活リズムが乱れたり、疲れが出ることもあるかと思われます。無理をせず、よくお子さんの様子を見ながら、学校生活、学童生活に慣れさせていきましょう。何かありましたらお知らせいたします、また、ご相談ください。

土方美佳(運営委員長)：神田小学校学校長
八田正巳：八坂神社総代、石橋政美：大神地区自治連合会会長、牧野賢治：相模小学校学校長、栗山実子：婦人会会長、和田守兄：田村地区民生児童委員委員長、土屋裕之：神田地区青少年指導員会長 四宮賢治：公民館館長、社会福祉協議会会長：浅野一人、小林寛：田村地区自治連合会会長 <敬称略、順不同>